

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 4 月 28 日 (2011.4.28)

【公開番号】特開 2009-224821 (P2009-224821A)

【公開日】平成 21 年 10 月 1 日 (2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報 2009-039

【出願番号】特願 2008-62781 (P2008-62781)

【国際特許分類】

H 0 4 W 8/24 (2009.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

H 0 4 W 88/02 (2009.01)

H 0 4 W 92/18 (2009.01)

H 0 4 M 3/42 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 Q 7/00 1 5 3

H 0 4 Q 7/00 6 3 0

H 0 4 Q 7/00 6 4 1

H 0 4 Q 7/00 6 9 1

H 0 4 M 3/42 D

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 3 月 11 日 (2011.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信装置であって、  
通信パラメータの提供を受ける受信装置に、通信パラメータを提供する提供手段と、  
第 1 のネットワークの通信パラメータを記憶する記憶手段と、  
前記第 1 のネットワークが存在しているか否かを判定する判定手段と、を有し、  
前記提供手段は、前記判定手段により前記第 1 のネットワークが存在していると判定された場合、前記第 1 のネットワークの通信パラメータを前記受信装置に提供することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記記憶手段は、他の通信装置との間で行った通信パラメータの設定処理によって設定済みの通信パラメータを記憶することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記提供手段は、前記判定手段により前記第 1 のネットワークが存在していないと判定された場合、前記第 1 のネットワークの通信パラメータとは異なる通信パラメータを提供することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の通信装置。

【請求項 4】

前記記憶手段により記憶する通信パラメータは、前記提供手段により提供済みの通信パラメータの中で、最後に提供した通信パラメータであることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記提供手段は、前記判定手段により前記第 1 のネットワークが存在していないと判定

された場合、新規に作成した通信パラメータを提供することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 6】

周囲のネットワークを検索し、周囲のネットワークのネットワーク識別子を取得する取得手段と、を有し、

前記第 1 の通信ネットワークの通信パラメータは、前記第 1 の通信ネットワークのネットワーク識別子を含み、

前記判定手段は、前記第 1 の通信ネットワークのネットワーク識別子と、前記取得手段により取得したネットワーク識別子と、に基づいて、第 1 のネットワークが存在しているか否かを判定することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記ネットワーク識別子は、前記第 1 の通信ネットワークを確立した装置が生成するランダムな値であることを特徴とする請求項 6 記載の通信装置。

【請求項 8】

前記第 1 のネットワークの通信パラメータを提供してから、又は前記第 1 のネットワークの通信パラメータの提供を受けてからの経過時間を計測する計測手段を有し、

前記提供手段は、前記判定手段による判定結果と、前記計測手段による計測結果と、に基づいて、前記第 1 のネットワークの通信パラメータを前記受信装置に提供することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 9】

前記第 1 の通信パラメータを設定してから経過時間を計測する計測手段を有し、

前記提供手段は、前記判定手段による判定結果と、前記計測手段による計測結果と、に基づいて、前記第 1 のネットワークの通信パラメータを前記受信装置に提供することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 10】

ユーザによる通信パラメータの設定の開始が指示された場合、又は、前記通信装置の無線通信部が起動された場合に、前記提供手段による通信パラメータの提供を行うことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 9 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 11】

前記受信装置の省電力状態を解除させるための指示を送信する指示手段を有し、

前記指示によって前記受信装置の省電力状態を解除させた後に、前記判定手段による判定を行うことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 10 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 12】

通信装置による通信方法であって、

通信パラメータの提供を受ける受信装置に、通信パラメータを提供する提供工程と、

第 1 のネットワークの通信パラメータを記憶する記憶工程と、

前記第 1 のネットワークが存在しているか否かを判定する判定工程と、を有し、

前記提供工程においては、前記判定工程において前記第 1 のネットワークが存在していると判定された場合、前記第 1 のネットワークの通信パラメータを前記受信装置に提供することを特徴とする通信方法。

【請求項 13】

請求項 12 記載の通信方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 14】

コンピュータにより読み取り可能であり、請求項 13 に記載されるプログラムを記憶したことを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【００１６】

本発明は、通信装置であって、通信パラメータの提供を受ける受信装置に、通信パラメータを提供する提供手段と、第１のネットワークの通信パラメータを記憶する記憶手段と、前記第１のネットワークが存在しているか否かを判定する判定手段と、を有し、前記提供手段は、前記判定手段により前記第１のネットワークが存在していると判定された場合、前記第１のネットワークの通信パラメータを前記受信装置に提供することを特徴とする

°

## 【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【００１７】

また、本発明は、通信装置による通信方法であって、通信パラメータの提供を受ける受信装置に、通信パラメータを提供する提供工程と、第１のネットワークの通信パラメータを記憶する記憶工程と、前記第１のネットワークが存在しているか否かを判定する判定工程と、を有し、前記提供工程においては、前記判定工程において前記第１のネットワークが存在していると判定された場合、前記第１のネットワークの通信パラメータを前記受信装置に提供することを特徴とする。